

# 我孫子市議会議会報告会実施結果

我 孫 子 市 議 会

1. 名称 : 我孫子市議会議会報告会

## 2. 実施目的

我孫子市議会は、平成26年12月に「我孫子市議会基本条例」を制定しました。条例では、議会で行われた議案等の審議の経過及び結果を報告する「議会報告会」の開催を規定していることから、条例に基づき、市民の皆さんに平成29年第1回定例会（3月議会）の内容を報告するため、また、議員定数について意見を聞くために第3回目となる議会報告会を実施しました。

## 3. 開催日時・会場・参加者数

- ・平成29年5月20日（土）午前9時30分～午前11時30分  
湖北台近隣センター 多目的ホール  
\* 16名参加
- ・平成29年5月20日（土）午後2時～午後4時  
近隣センターふさの風 多目的ホール  
\* 23名参加
- ・平成29年5月21日（日）午前9時30分～午前11時30分  
天王台北近隣センター 多目的ホール  
\* 17名参加
- ・平成29年5月21日（日）午後2時～午後4時  
我孫子南近隣センター 多目的ホール  
\* 22名参加

※4会場合計、78名参加

※いずれの会場も、開始時間の30分前から受付を行った。

※参加に当たっての事前申し込みは不要とした。

## 4. 主催者側の出席者

- ・出席者：全議員

## 5. 説明会の内容と次第

- (1) 開会
- (2) 議長あいさつ
- (3) 3月議会各委員会の報告及び質疑応答

- (4) 議員定数の説明及び質疑応答
- (5) 閉会
- (6) アンケート依頼

## 6. 資料

- (1) 報告会次第
- (2) 議会報告会資料
- (3) 参加者アンケート

※報告会当日配付する資料については、5月19日（金）に市議会ホームページに事前公開を行った。

## 7. 周知方法

- ・市議会ホームページ
- ・ポスター、チラシを近隣センター、行政サービスセンター、市内2大学、市内4高校に掲示
- ・広報あびこでの周知（5月1日、16日号）
- ・議会だよりでの周知（5月1日号）
- ・直前に、市ツイッター及びフェイスブックでの周知依頼
- ・各議員からの個別周知（SNSも含む）
- ・市記者会見で資料を配布
- ・5月16日（火）～19日（金）、市内5駅（我孫子駅、天王台駅、湖北駅、新木駅、布佐駅）で議員による駅頭チラシ配布を実施

## 8. 議会報告会アンケート集計結果及び質疑概要

- ・別添資料参照

## 我孫子市議会議会報告会アンケート集計結果及び質疑概要

平成29年5月20日（土）・21日（日）に市内4会場で行った議会報告会において、参加者にアンケート記入を依頼しました。

参加者総数78人中、57人から回答をいただきました。

会 場	参加者	回答者	割合
湖北台近隣センター	16人	14人	87.5%
近隣センターふさの風	23人	20人	87.0%
天王台北近隣センター	17人	11人	64.7%
我孫子南近隣センター	22人	12人	54.5%
計	78人	57人	73.1%

\*割合における比率はすべて構成比率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。  
そのため、割合の合計が100%にならないことがあります。

Q1. あなたの性別をお答えください。

性 別	回答数	割 合
① 男性	41	71.9%
② 女性	16	28.1%

Q2. あなたの年齢をお答えください。

年 齢	回答数	割 合
① 18歳未満	0	0.0%
② 18～20歳	0	0.0%
③ 20歳代	0	0.0%
④ 30歳代	1	1.8%
⑤ 40歳代	1	1.8%
⑥ 50歳代	3	5.3%
⑦ 60歳代	14	24.6%
⑧ 70歳以上	38	66.7%

Q 3. 今回の議会報告会を何で知りましたか。(複数回答可)

項目	回答数	割合
① 広報あびこ	40	59.7%
② ホームページ	3	4.5%
③ その他SNS	1	1.5%
④ 議員を通じて	15	22.4%
⑤ その他(チラシ6件、友人2件)	8	11.9%

\* SNSとは：ソーシャルネットワークサービスの略で、インターネットを利用したサービス(ツイッターやフェイスブックやブログなど)のこと。

Q 4. 議会報告会に参加されてどう思いますか。

項目	回答数	割合
① 大変よいと思う	28	49.1%
② よいと思う	22	38.6%
③ 必要を感じない	3	5.3%
④ わからない	3	5.3%
⑤ 未回答	1	1.8%

Q 5. 議会報告会の資料について、どう思いますか。

項目	回答数	割合
① わかりやすい	14	24.6%
② 普通	31	54.4%
③ わかりにくい	7	12.3%
④ 未回答	5	8.8%

※自由記述は、別紙1に記載

Q 6. 今日の説明や進行について、どう思いますか。

項目	回答数	割合
① よかった	27	47.4%
② 普通	23	40.4%
③ よくなかった	2	3.5%
④ 未回答	5	8.8%

※自由記述は、別紙2に記載

Q 7. 開催日時・場所について、どう思いますか。

項目	回答数	割合
① よかった	25	43.9%
② 普通	26	45.6%
③ よくなかった	2	3.5%
④ 未回答	4	7.0%

※自由記述は、別紙3に記載

Q 8. 議員定数について、どう思いますか。

項目	回答数	割合
① 多い	6	10.5%
② やや多い	8	14.0%
③ 適当	23	40.4%
④ やや少ない	7	12.3%
⑤ 少ない	3	5.3%
⑥ 未回答	10	17.5%

Q 8-1. Q 8で③以外に回答をした方にお聞きします。議員定数は何人が適当だと思いますか。

人数	回答数	割合
① 13～14人	1	4.2%
② 16人	1	4.2%
③ 20人	7	29.2%
④ 21人	1	4.2%
⑤ 22人	2	8.3%
⑥ 25人	5	20.8%
⑦ 26人	2	8.3%
⑧ 28人	1	4.2%
⑨ 30人	1	4.2%
⑨ 未回答	3	12.5%

※③以外に回答をした24人

※自由記述は、別紙4に記載

Q 9. 議会報告会に参加されたご感想又は議会へのご要望などをご記入ください。

※自由記述は、別紙5に記載

### Q 5. 議会報告会の資料について、どう思いますか。〈自由記述〉

#### 1 「普通」及び「未回答」とした項目での意見

- 質問・答弁は要領良くまとめられており、とても良い。特に議論された事項については何が論点で、どのようなやりとりがあったのか、よくわからない。
- 時間が短い
- 課題は成田線の利便性。利便性が向上すれば利用は増える。
- わかりにくい
- 当日配布ではなく、事前に市のHP等で公開してほしい。資料（2）の報酬に賞与も含めて年間収入の表記が必要。
- 今回で3回目ということですが、今後とも地域住民にわかりやすいご報告をお願いします。
- 質問内容の文章が長すぎる。
- 市政について無知なので、話の前提についてわかりかねるまま進んでおりました。何を見ればそのあたりの情報が得られるか、周知してもらえると助かります。
- 報告会の質疑応答についても、わかりやすくまとめていただき、HPなどで市民に伝えていただけると議会がより身近に感じられるようになるのではと思います。
- 資料を事前に見れるように支所に置くなど、できれば検討してほしい。
- 図示してわかりやすくする。発行年月日、責任部署（名）を入れる。

## 別紙 2

Q 6. 今日の説明や進行について、どう思いますか。〈自由記述〉

### 1 「よかった」とした項目での意見

- 司会進行の対応がすごく良かった。
- 各委員会単位での説明、よかった。但し、3月議会の特記事項だけではなく、12月、9月、6月議会で話題になった案件を1件程度、その概要を説明に加えて欲しい。(年間の活動の理解に役立つのでは。項目の列記だけでもいい)
- 質問時間1分は短い。各質問者の時間を計ると2分～3分の人が多いので、次回からは工夫して欲しい。(1分は難しい)
- 質疑の時間がもう少しあったら良い(各委員会報告)。発言しようかと考えているうちに時間がなくなり、発言する機会をなくしてしまっていて残念でしたが、最後の時間延長の時に時間をいただきました。ありがとうございます。
- 前は議員の方全員が前に並んでいたということ、今回は入れ替わりに時間はかかりましたが、それでも圧迫感は減っていると思います。
- 質疑応答の時間を充分とっていただいて良かった。
- 参加者の意見をよく聞いていた。

### 2 「普通」及び「未回答」とした項目での意見

- 今迄あまり出席したことがありませんので、良かったと思います。
- もっと質問時間がほしい。
- 早口でついていくのが大変なときもありました。
- 向上して欲しい

### 3 「よくなかった」とした項目での意見

- 資料の棒読みで相手に伝える熱意が感じられなかった。

Q 7. 開催日時・場所について、どう思いますか。

### 1 「よかった」とした項目での意見

- 運動会と同じ日になり、参加者が少なかった。次回の日程調整が必要
- 日時については、やはり土日になろうかと思えます。
- ご苦労様です。これからも続けてほしい。
- 4カ所になってよかった。
- 日曜日が休日なもので、個人的には都合よかったです。

### 2 「普通」及び「未回答」とした項目での意見

- 湖北台の住人なので、湖北台近隣センターでよかったです。
- 2時半開催と聞いていたのに2時に変更された通知がなかった。
- 地元の行事と重複しないように（布佐小・南小の運動会開催中）
- 議会終了後即開催（年4回実施）
- 時節柄、学校行事の運動会、部活の大会（文系体育会系問わず）等が多く伴い、保護者も忙しいと思われませんが、議会開催日の事もあり、参加者が少々少ないようですが、OKと思えます。
- 早めに決定して欲しい

### 3 「わかりにくい」とした項目での意見

- 時間は午前中がいい

## 別紙 4

Q 8 - 1. Q 8で③以外に回答をした方にお聞きします。議員定数は何人が適当だと思いますか。

### 1 「13～14人」、「16人」、「20人」、「21人」及び「22人」とした項目での意見

- 1. 柏市は人口40万位で議員は36人。市民11,000人位に議員1人。2. 日本は人口比で市議会議員数が他国に比べてきわめて多い。下記は対米国の市との比較。(例) ニューヨーク 人口800万人位 議員51人。シカゴ 人口280万人位 議員50。サンフランシスコ 人口75万人位 議員11。ミルウォーキー 人口65万人位 議員16。3. 市長の仕事に比して、議員の責任と任務はきわめて小(実務が小さいということ)。
- 大勢いても何をやっているのか市民にはよく理解できない。少数精鋭で充分と思われる。人口比でも20人位がよい。
- 人口減少があるので、20人ぐらいでいいのではないか。
- 議員の質の高まりは、市民の市議会活動への関心が高まらねばいけないと思います。
- 議員の方々のレベルが向上すると思います。現在、議会、各委員会の質問内容のお粗末な議員さんもいらっしゃると思います。
- 議員が定数をけずると言うことは、非常に勇気が必要だ。ある議員は定数を少なくすると人材がいなくなると言うが、これは根拠のない意見だと思われる。少数精鋭が基本と推測される。

### 2 「25人」、「26人」、「28人」及び「30人」とした項目での意見

- 人口13万人の我孫子は、他市と比較して24人はやや少な目ではないか。
- 多少の増減は意味は無いと思われます。
- 定数について、現数OK。増加OK。
- 民主主義の観点から、市民の多様性をすいあげるために市議会議員は必要だと思います。
- 我孫子の人口からして25人でもいいかな、と。
- 26名、他市の状況から人口によればあと2名ほしい。
- ①資料(2)のP. 4にあるように、10～20万人の平均議員数は26名となっている。議員を減らせば良いものではない。②市議会議員が24人の市は全国に54市ある。我孫子市より人口の多い市が11市、少ない市が42市ある。54市の平均人口は98,185人であり、我孫子市の132,853人÷98,185人=1,353人となる。我孫子市はむしろ議員定数を増加しても良いと思う。
- もっともつとこの我孫子市をよくする為、いい我孫子市になる為に議員さんも28人にした方がいいと思います。

### 3 「未回答」とした項目での意見

- 少なくするには、少なくともカバーできるように議会でチャレンジしてください。
- 市職員が中心となる市政でなく、住民・市議会議員が市政の中心となってもらいたい。
- 具体的な人数は分かりませんが、議員数は増加させるべきです。
- 我孫子市は、東西に細長いことから、人口比も西と東では差が広がるばかりで、今後も更にこの傾向が続くと思われ（単に定数の是非ではなく）、地域によっては選出議員が「0」になる可能性があり、なんらかの対策が必要。
- 1. 議会の大機能（①住民の意思を公平に反映し、合議のもとで市としての意思決定をする②行政の監視）に照らして、24人は適当である。2. 全国市議会議長会の全国調査の定員数に関して、関西学院大の林教授の解析一定員と人口・面積との相関式一に従えば、我孫子の定数は25人に相当するのが全国平均なる。それによれば、24人は多くなく、適正と考えられる。
- 議員定数24人が適当か？
- わからない

## 別紙 5

Q 9. 議会報告会に参加されたご感想又は議会へのご要望などをご記入ください。

- 一般市民の参加者が少なく残念です。議会中、なかなか傍聴に出かけることが困難ですが、今回のように3月議会をダイジェスト版として把握でき、とても参考になりました。
- 「議会報告会」に若者市民の出席者数を増加させる工夫が欲しい。
- どうすれば参加者が増えるか、考える必要がある。
- なかなか出席できず本日出席しまして、もっと多くの市民の方に参加してほしい。今日の話は友人達にお話して、もっと自分の住んでる我孫子市のことを考えるよう話します。私は湖北台団地に住んでいます。もっと自分の市の事ですので参加・勉強しなくては行けないと強く感じました。ありがとうございます。次回も必ず出席します。
- 各議会報告のあと質問はなくしてすべての報告のあと質問をとればいいのではないのでしょうか。その時は各委員長だけ前列に座ればいいのではないのでしょうか。
- あびこ広報5月16日、水道事業の予定量、年間総水量1214万 $\text{m}^3$ 、一日平均3万3275 $\text{m}^3$ 、北千葉広域水道から12,000,500 $\text{m}^3$ /年、一日Max32,900 $\text{m}^3$ /日の契約をしているのである。認可地下水19,600 $\text{m}^3$ /日をどのように使用するか、計画するかお聞きしたい。(地下水使用を守ることは大切である)
- 参加者が昨年より少し多かったので良かったが、答弁が悪い人もいた。
- 1. 参加して有益だったと思います。市の広報は一応目を通していますが、議会でのQ&A、詳しい記載もあり、質問にも会場で議員各位が真面目に答える努力をされていると感じました。2. 議員定数は「へらさないでよい」との意見あり、当面目標を20と書きましたが、これは変えず、将来目標16は再考慮してみます。
- 各委員会の活動内容が判り易く、大変良かった。今後も参加いたしたい。
- 各地域毎の安心、安全に配慮お願いします。各地域毎への市有地の駐車場の増加(有料、無料)
- 短い時間であったが、市政について興味が持てた。
- 議会の議事録開示が遅すぎます。少なくとも1週間位で公開してほしい。
- 議員のみなさんは真摯な態度で好感。
- 議会での報告を知ることが出来てよかったと思います。
- 終末処理場の件、もう一度考えてほしい。
- 参加者が少ない。各自治会によく頼んで少なくとも自治会委員には出席してもらおうようにするとよい。
- まじめな質疑応答ができたと思う。もっと委員長以外の市議の意見も聞きたい。
- とてもよい企画なので、もっとたくさんの市民の参加がほしい。自治会を通じて宣伝してほしい。
- 初めて参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。
- よかった。議員の活動がよく分かった。こういう会議はどんどんやって議員との交流を

深めたい。教育委員会ともこのような交流を行いたいものだ。

- 意見として受けますとの返事は不十分な回答です。
- 実情がよく分かり理解でき、参考になりました。
- 参加者の年齢層が高く、市政への関心が低い現状がよく表れていると思います。
- 参加者を増やす努力を。もったいない。
- 湖北、天王台、我孫子の3ヶ所に参加させていただいた。各地区、会場の特徴等を理解することができました。
- 事前の公表資料をもう少し早くできないでしょうか。
- 市議会自体に対して興味を持つことができました。ありがとうございます。
- 託児サービスを導入いただけると小さい子どものいる世代の市民の参加がよりしやすくなるように思います。次回以降、ご検討いただけますようお願いいたします。
- 議会報告会を開いていただくことで、議員の方の活動が良く解りました。今後も継続していただきたいと思います。
- 我孫子は真摯に取り組んでいる姿はとてもよい。
- 議員の活動は議会での質問だけではないとは思いますが、大事な仕事の1つだと思います。どの議員がどのくらいの回数、またどんな内容の質問をしたのかの詳しいようすを知りたく思います。ネット中継とか努力されているのはわかりました。市民も知る努力をしないとイケませんね。
- 参加者を増やす努力をしてください。アンケートの方式を変えては如何。市民の声を全て真剣に聞く。
- 初めて参加いたしました。報告内容から議会が少し身近になりました。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
定数	現状維持	<p>Q 議員を増やす、減らすを議論するのではなく、議員の皆さんには日頃の活動をもっと頑張ってもらいたい。</p>
		<p>A —</p>
		<p>Q 24名で妥当だと思う。議員の質が問われていると思う。地域の問題を解決し、市民の意見を吸収し反映させるよう活動に取り組んでほしい。</p>
		<p>A —</p>
		<p>Q 24名で妥当だと思う。数の論議をする前に、質の向上を。日頃の活動が見えないので、もっとPRをするように。</p>
		<p>A 議会基本条例を作った根幹には、議員の質の向上があると考えている。議員の活動が見えないというご意見であるが、議員個人は苦勞しているということをご理解いただきたい。</p>
		<p>Q 議員定数が24人の市について調べたら、人口の平均が98,185人だった。このことを考えると、我孫子市の議員定数は人口にしては少ないと思う。減らす必要はない。</p>
		<p>A —</p>
		<p>Q 現状でいいと思う。議会・議員の役割は市民の声を公平に代表して、市としての意見をまとめ、また、行政の監視を行うことである。この2つの機能の観点から多いか少ないかを考えるべきである。また、関西学院大学の教授が標準的な議員定数の計算式を作成しており、それに我孫子市を照らすと25人となることから、24人で適正と思う。</p>
		<p>A —</p>
		<p>Q 前回減らした時は財政力等を考慮して減らしたと考えられる。現在は現定数のままでいいと思う。なお、資料の中に財政力指数を入れてもらえるとなおわかりやすいと思う。</p>
		<p>A —</p>
		<p>Q 定数に論点を置くのではなく、議員の質の向上に論点を置いてほしい。定数はこのままで良い。</p>
		<p>A —</p>
<p>Q 定数減で質の向上、というのは少し違うのではないかと。当選した方がどれだけ身を粉にして働くかどうかわからない。本人の姿勢にかかっている問題である。定数は24人のままでいい。議員は市民の身近にすることが大事。</p>		
<p>A —</p>		

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所			Q:質問 A:答弁
定数	現状維持	Q	我孫子市の議員定数が平均であることがわかった。我孫子市の議員は質が高いと思う。質の高い議員を減らすのはとんでもないことである。多様な願いを聞く民主主義を大切にしたい議員定数にしなければいけない。
		A	—
	減っても対応できるように	Q	チャレンジしていかないといけないのでは。我孫子市は議員が少なくても立派に運営していると言われるようになってほしい。平均だから良いのではなく、どうしたら少なくてやっていけるかを考えるべきでは。
		A	—
	減らしてほしい	Q	20名で良いと思う。減らす方向で努力してほしい。
		A	—
		Q	議員定数が多すぎる。柏市と比較すると。柏市は私が調べたときに人口38万人で定数が36人。我孫子市が人口13万人で定数24人。1万人当たりの議員数が我孫子市が1.77人、柏市が0.93人で2倍弱我孫子市が多い。そのため、13~14人が適当である。
		A	—
		Q	我孫子市の議員定数は多いと思う。レベルの低い議員もいると思う。21名が適当だと思う。
		A	—
		Q	議員定数は多すぎる。21で充分。
		A	—
	減らす+報酬アップ	Q	議員報酬の月額44万で議員は生活していけるのか？今、報酬が少ないために議員のなりてがない市町村も出てきている。議員を減らすことによって一人当たりの報酬を増やすことで優秀な人材を集める、という方法もあるのではないかな。
		A	—
	減らさないでほしい	Q	市議会の一般質問で日程が3日間から2日間に変更になることがある。3カ月に1回の議会で質問しないことが考えられない。議員を減らして発言しない議員ばかりになるのは心配である。
		A	—
		Q	議員報酬は20代30代では逆に高いのではないかな。報酬をあげることに賛成しかねる。定数に関しては平均であることから問題ないと思う。これ以上減らすのは賛成しかねる。
		A	—

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁	
定数	減らさないでほしい	Q	我孫子が多いわけではない。これ以上減らしたら地域の要望が通らなくなると思う。
		A	—
		Q	減らさなければいけない理由はないか。ある一定数の議員は必要である。
		A	皆さまの意見を聞くのは、議員定数が適当であるかを聞くのであって、減らすことが前提ではない。
		Q	議員の皆さんには、予算化された事業がどうなっているのか、直に足を運んで現況を見てほしい。議員が少ないから市民の要求が実現できないことがあると考えるので、これ以上減らすのは反対である。
		A	—
		Q	議員定数を減らすことは反対である。市民が決めることだと思うので、議員自身が決めることも反対である。
		A	—
	増やしてほしい	Q	定数は減らすべきではないと考える。今後は、報酬だけではなく、賞与も含めた年額の資料を作成してほしい。報酬を減らして議員を増やしてほしい。
		A	—
		Q	女性の議員が少ないからか、資料に男女比率がのっていない。質の向上には男女比も関係しているので、次回は男女比率ものせてほしい。
		A	かつては我孫子市も女性の議員が多い時代があった。選挙は立候補制なので、女性が出てきてくれないことには比率が上がらないので、市民の皆様にも考えていただきたい。
		Q	議員の中で、定数についてどのような議論があったのか。
		A	昨年10月の議会報告会以降、特に議論はしていない。今回皆様の意見を聞いて、議会としての結論を出す予定である。
		Q	議員を減らすことのメリット、デメリットをどのように考えているのか。
		A	メリット・デメリットについての考えは差し控えさせていただく。議員1人を減らすと、約900万円の削減が見込まれる。
	Q	定数を検討するに至る経緯は。議員自身は、現在の人数で足りているのか、不足しているのか、どのような意見を持っているのか。	
	A	議員が担当する事案も以前よりは増えているが、現在の定数が適当かお答えすることは差し控えたい。皆さんの意見を聞いて12月までに審議をし、公聴会等開催する段取りで議員定数についての問題を進めていく。	

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
定数	Q	議員には、市民が望んでいることをくみ取って解決するように努力してほしい。
	A	—
	Q	今後、人口が減少していき、財政等も厳しくなってくるのが予想されるため、そういったことを考慮して定数について考えるべきである。
	A	—
	Q	定数を考える際には、できれば市民アンケートなども行って慎重に検討してほしい。議員の活動内容が市民にわからないと、定数を減らせという話になる。今後、議員の質と活動によって定数が決まると思うのでがんばってほしい。
	A	—
	Q	議員にも定年が必要ではないか。活気あふれる議会を目指してほしい。政務活動費の使途が不透明である。
	A	政務活動費については、我孫子市は規則を定め使用範囲を狭めている。自信を持って事故はないと申し上げたい。
議案第8号	Q	資料の29ページの新木地区のコンビニエンスストアについて、以前強制撤去した経緯があるのに、なぜまたできるのか。
	A	当時とは道路整備状況や人と車の流れが異なる中で、コンビニエンスストアを含む食堂・レストランの整備について基準を見直すという内容の議案である。議会でも意見が分かれたが、しばらく推移を見守っていく。
議案第10号	Q	議案第10号について、公園の駐車場が時間外も利用できることになったということで、前から早く実現してほしいことなので良いことだと思う。引き続き、アビスタについても、時間外や休館日に利用できるように、ぜひ研究して市側に提案できるようにお願いしたい。
	A	手賀沼エリアは観光誘導方針も新たに整備され、市外からの観光客も誘導して観光施設を整備していくという方針が示された。観光客が1人でも多く、利用者が利便性を感じられるように、休館日の利用についてしっかりと調査・検討していきたい。
議案第12号	Q	議案第12号について、指定管理者選考委員会の委員の中に、市職員が入っていることに違和感を感じる。今後はこういったことが無いようにしてほしい。
	A	議会でも選考委員会のメンバーや採点基準などについて議論がされてきた。今後、選考委員会が指定管理者の評価を行っていくので、公正・公平で市民に説明責任のつくルール決めなどを執行部として検討していくとしているので、議会としても注視していく。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
議案第12号	Q	指定管理者の指定について、非公募としたことが納得できない。あびベジありきだったのではないか。水の館の無償譲渡の経過について、なぜ事前に市民に知らせなかったのか。
	A	執行部は、「あびベジ」ありき、ではなく、今までの農産物直売所等の実績を踏まえれば、我孫子の農業拠点を担っていくのは「あびベジ」しかない、ということだった。議会では、公募か非公募か等、様々な議論があり、賛否が分かれた。なお、水の館の移譲については、財政負担が厳しい関係から、前々から市へ打診があり、その時にたまたま農産物直売所の移転の話が合致したということである。
予算	Q	メディアミックスとは何か。
	A	いろいろな媒体を駆使して広報を行うことで、具体的には、ラジオやテレビや街中の大きなスクリーンやインターネットなどの利用があげられる。
	Q	来年度予算が確定する前に災害などが発生したときに、暫定予算を組むなどのルールはあるのか。予算の執行や決定はスピードが大事である。
	A	ルールはないが、東日本大震災時には予備費、財政調整基金などで対応した。
	Q	教育費が減額になっているが、小中学校のエアコンの設置状況とトイレの状況はどうか。
	A	エアコンは全小中学校で設置済み。設置が終わったため、その分が減額になっている。トイレも大規模改修事業に併せて行っており、今後も進められていくのを議会としても支援する。
成田線	Q	成田線の名称を、我孫子をPRできるような名称に変更してほしい。
	A	つくばエクスプレスは近代的な名称でイメージアップを図っている。JRと今後検討していくべき課題と思っている。
	Q	成田線の乗降客数が増えても踏切問題で複線化できる状況ではないと思う。特に、下新木の踏切は車が1台しか通れないので、早く改善してほしい。
	A	下新木踏切については、狭いということを把握しており安全対策をしなければいけないと認識している。地権者の同意を得て拡幅することがなかなかできない状況であるが、安全対策としてゾーンの色分けをしたり、認識しやすい看板を設置したり工夫をしている。拡幅すべく、今後も最大限の努力をしていく。
	Q	我孫子市内に踏切はいくつあるのか。安全対策はできているのか。
A	小さいものを含めて20カ所程度ある。安全対策について、執行部も課題は把握しているので、委員会としても注視し改善に向けて努力していく。	

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所	Q:質問 A:答弁	
成田線	Q	成田線の名称を「我成(あなり)線」に変更することを提案する。また、成田から品川までを一気通貫で走らせ、成田空港と羽田空港を結ぶ構想を提案する。
	A	名称の変更については、JRと検討させていただく。一気通貫については、成田始発の上野東京ラインが開通し利便性が高まっている。あびこの魅力発信室などで成田線の魅力を発信しているので、今後さらにPRをして、利便性を求めていく必要があると考えている。
	Q	議員の皆さんにも日頃から成田線を有効活用して、PRをしてほしい。
	A	市内の行事等に参加する際には、なるべく電車を使うように努力していると思う。
	Q	成田線活性化に向けた取り組みに迫力が欠けていると思う。PR動画の作成よりも、成田線に乗りたい、沿線に住みたいと思わせる仕組み作りが必要だと思うので、専門家などを交えて検討してほしい。
	A	湖北台の会場でも「成田線という名称を変更してイメージアップを図った方が良いのではないか」というご意見をいただいた。動画の発信については、昨年慶應大学の学生が我孫子のPR動画を作成し、魅力発信を行っている。あびこの魅力発信室長は元アナウンサーで、様々な取り組みでPRをしている。今後も成田線、我孫子の魅力を発信していく事業を応援していきたい。
	Q	成田線は利便性がとても大事。JRと協議をしているようだが、なかなか進んでいないと思われる。今の状況は。また、ぜひ進めてほしい。1時間に3本は可能だと聞いている。
	A	今までの成果としては成田駅発の上野東京ラインが増えた。増便は乗客数の問題がネックで難しいとの回答を得ているが、それでは困るので、継続的に陳情等を行っている。
我孫子市のPR	Q	我孫子市の知名度アップの提案として、布佐にある鮮魚街道(なまかいどう)を都民の方々にPRしては。
	A	—
	Q	我孫子市のラジオ番組はあるか。無ければ今後検討してほしい。
	A	—
防犯	Q	防犯カメラを増設してほしい。
	A	市としても小中学校、公園などに設置することを進めていくこととなっている。自治会としても設置を進めているところもある。議会としても注視していく。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
防犯	Q	町会で行っている夜のパトロールが高齢化している。80代も回っている状況である。もっと「まちぐるみ」で防犯をやっている、ということを示せばいいと考えるが、それについての考えは。
	A	パトロールはボランティアで回ってもらっている状況。市としても対応が難しい問題。我孫子警察の巡回強化や街灯のLED化、防犯カメラの増設、日中の移動交番の強化などを検討したい。
教育	Q	市民と教育委員会で話をするチャンスがない。議員の方の力をかりてそういった機会を設けてほしい。
	A	意見を参考にして教育委員会に話をしていきたい。
	Q	給食費の未納者の人数などの把握はできているのか。また、少しでも補助などができるようにしてほしい。
	A	未納者は教育委員会として把握している。現在、教育費の無償化が国で言われており、その中で3月議会で給食費の無償化について質問をした。無償化を実現するには様々な課題があるが、補助など段階的にでも少しずつ無償化に向けて進めてもらうように質問した。
	Q	小・中・高等学校の校長先生の期間が短すぎるのではないかと。長く勤めてほしい。
	A	教員の人事は県が行っている。要望として承り、教育委員会に伝える。
	Q	我孫子の小・中・高・大学でスポーツで活躍している人達をもっと褒めてあげてほしい。
	A	議会でも同趣旨の質問があった。市からも、活躍している人達をもっと紹介していくと回答があったことから、進んでいくものと考えている。
	Q	義務教育は無償なのにもかかわらず、保護者が負担している金額が多く、就学援助を受けている方も多い。その点を改善してほしい。
	A	—
	Q	若者、子どもを議会に惹きつけるための施策を打ち出してもらいたい。
	A	若者・子どもの議会傍聴は難しいが、色々な形で議会とつながれるように検討したい。また、今回の議会報告会のPRのために駅頭でチラシを配布したが、以前よりも高校生がチラシを受け取ってくれる実感があった。子ども議会にしても今後、回数を増やすとか、内容を充実させるなどで議会との関わりを子どもたちに提供することも考えられる。今後、若者と議会の関わりあいについては検討していく。
Q	国の方針では英語教育が小学校5年生から3年生に繰り上げられると聞いているが、我孫子市としても対応しなければいけないのか。英語教育より日本語教育の方が大事だと思うが、どのように考えるか。	
A	我孫子市でも3年生から進める方向で対応していただきたいと考える。議会の中では英語教育をどう充実させていくかという質問の方が多い。我孫子市の独自性を求めるとすると、小中一貫教育が行われているので、9年間で英語をどう身につかせていくかということになると思う。	

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
松戸市在住の女子児童事件	Q	松戸市在住の女子児童が遺棄された事件を受け、議会としてどのような対策をとったのか。
	A	学校としてはPTAに声をかけて、安全対策をしたと聞いている。防犯カメラの設置を決めた自治会もある。3月議会閉会後に起きた事件なので、議会としては話し合いができていない。
	Q	各地区での日頃からの意識が大事であると思うが、教育福祉常任委員会ではあの事件を教訓に、安全対策についてどのような議論をしているのか。
	A	3月議会の後に発生した事件なので、委員会として議論はできていない。教育委員会では対応をとっていると聞いている。
給食費無償化	Q	日本では55自治体のみが給食費無償化をしているとのことだが、なぜ我孫子は無償化しようとしているのか。目的は何か。
	A	1つの日本の流れとして教育無償化が言われている。また我孫子市は人口が減っている中で、子どもに力を入れたらどうかという点で給食費無償化について質問をした。現在の我孫子市の財政では無償化は無理であるが、無償化に向けて段階的に進めてみてはどうかと提案し、市からは検討するとの答弁をいただいた。
	Q	給食費の無償化について、給食費に限らず教育にかかるお金が大変という若者の意見を聞いている。給食費の無料化は良いと思うが、質・財源など色々と課題があると思う。十分に検討してほしい。
	A	質問の趣旨としては将来的な無償化を、ということである。保護者が負担している金額が年で約5億円で、現状では無償化は無理。段階的に進めたり、調理の合理化などを進めたりして、将来的に無償化できればいいのではないかと、市に提案を行った。
国民健康保険	Q	国民健康保険が払えない世帯に対し、何か対応をしているのか。
	A	新たな国民健康保険制度について、今後委員会で勉強会を開催する予定である。市は今まで通りに対応していくと考えている。
介護・医療	Q	我孫子も高齢化率が高い。高齢者なんでも相談室に行けばある程度対応してもらえるが、医療に関する相談はプロがいない。相談室にプロがいればより充実すると思う。また、あびこの魅力発信室の中味で「市民活動」もPRしてほしい。また、「手賀沼周辺に平和に関するものが集中している」ということもPRしてほしい。
	A	高齢者なんでも相談室は今年度から1名ずつ増員される。また、医療の推進も今年度からやっていくことで市もとらえている。
男女共同参画	Q	男女共同参画について、趣旨には大賛成だが具体策が見えてこない。市としてどのような事業で、どのような方法で取り組んでいるのか。また、所管している部署はどこか。
	A	所管している部署は秘書広報課内の男女共同参画室。議会としても男性の育児休暇取得の推進などを要望している。なお、昨年に初めて男性職員が育児休暇の取得があり、PRや今後のことも含めての質問・提言などが3月議会でも行われた。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所	Q:質問 A:答弁	
農業拠点施設	Q	我孫子市の野菜は安心安全であるということをアピールする方法を考えてほしい。
	A	我孫子の野菜をアピールする方法は、イベントや農産物直売所レストランで提供するメニューやサービスの工夫などが考えられる。我々議員もチェックをし、アイデアを出し合って成功に向けてチャレンジをしていく。
	Q	非公募として認めたのは無理があるのでは。入札についても我孫子市は特定の人しかできないような風潮があり、不透明であるので議会で検討してほしい。
	A	入札制度全般のあり方については総務企画常任委員会で議論していただきたい。農産物直売所の非公募については、議会でも賛成の人と反対の人の意見は永遠にかみ合わない事項と思われるが、議論し決定したことは執行部として進めて行くことになる。
	Q	農産物直売所の入り口は、水の館の外観に合わないと感じるが、一時的なものなのか、決まりなのか。
	A	あのままである。県から移譲されたものなので、建物の付帯事項を変更することはできないが、市民の意見を発信し続けることは重要だと考える。
	Q	現時点で駐車場に車がたくさん止まっているが、新しくどこかに作る予定はあるのか。
	A	奥の砂地部分が駐車場になる。状況を見て足りなければ増設に向けて考えていく。
	Q	指定管理者選考委員会の採点結果について、いくつかの質問があってこのような評価点になるのか。市のホームページを見れば詳細が分かるのか。
	A	採点項目は細かく分かれていて、市のホームページにのっている。
	Q	農産物直売所をみんなで利用しよう。
	A	—
Q	指定管理者の選定について、非公募で決まったことが問題である。決まった結果については受け入れ、利用したいが、今後はぜひ公募していただきたい。	
A	指定管理者の運営については、指定管理者選考委員会がチェックしていくルールである。市としても指定管理者のあり方や選考委員会のあり方については適宜見直しをしていくと答弁をしているため、市と議会も協力し、市民への説明責任を果たすべく運営していく。	
道路(議案第13号・第14号)	Q	我孫子第一小学校から船取線までの通称「浜通り」について、整備してほしいと柏土木事務所に要望しているが、道路の一部がJRの土地であり、買取かどうかはっきりしないため、市に移管できずに、整備について調査や予算化ができない。JRの土地の問題解決が専決事項であるため、整備ができないとのことだった。この問題は何十年も解決されないため、現状でわかっていることと、議案第13号・第14号と関わりがあるのかを聞きたい。
	A	まず、議案第13号と第14号とは関係がない。該当の場所だけでなく、356号全体で指摘がある。市長部局も議会も陳情を繰り返しているが、優先順位・予算の兼ね合いでうまくいっていない状況であるが、今後も粘り強く交渉にあたっていく。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
道路	Q	2020年の東京オリンピックの際に、聖火ランナーが走れるように国道356号線の整備を。
	A	委員会でもしっかり踏まえて議論していきたい。
	Q	道路の改修を。
	A	要望として承る。
	Q	委員会等での議論の深まりが薄いと感じる。特に道路に関すること。
	A	—
手賀沼	Q	手賀沼浄化は北千葉導水が大事。汚濁の原因は、大堀川と大津川の流域が85%をしめる。我孫子市単独では難しい問題であるため、特に柏市にがんばってもらう必要があるため、戦略的なものを切り替えてやるべき。
	A	手賀沼水環境保全協議会でも話がでていると思うので、市としても受け止めて手賀沼の浄化に向けて推進していく。
	Q	手賀沼の水質が良くなったことを声を大にして言ってほしい。
	A	下水道の普及と北千葉導水事業により良くなっている。声を大にして言うように市にも伝える。
	Q	手賀沼の底にある放射能を含んだ汚泥の対策が必要である。市役所と市議会が連携して、近隣市と協力してやるべきである。
	A	千葉県に意見していく。
手賀沼公園・久寺家線	Q	工事を何年やっているのか。税金の無駄遣いでは。早く解決してほしい。
	A	地域の方からも早く整備を進めてほしいと声があがっている。過去の議会の中では強制執行した方が良いのではとの質問も出たが、当局としては話し合いで解決をしていきたいとのことであった。議会としては事業を後押しするために予算化をしていることをご理解いただきたい。
あびバス	Q	あびバスについて、本数が少ない。特に船戸から駅まで行くバスは多く乗るラインである。せめて1時間に1本程度にできないか。
	A	これまでも委員会で議論があった。予算の関係と公共交通機関との調整が必要になる。執行部も利用頻度やニーズを把握して、利便性向上に向けて改善していきたいという答弁もしているため、要望として受け止める。
交通	Q	自転車の運転マナー(特に高校生)について、交通マナーの徹底、PRをしてほしい。
	A	市にも苦情が寄せられていることは事実。注意の徹底を依頼している。小学校では年に一度の講習などを行っている。議会でも自転車の保険に関する質問等が行われている。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所		Q:質問 A:答弁
終末処理場	Q	手賀沼終末処理場の放射能問題について、県に申し出るなど、市議会としてもっと議論してほしい。
	A	—
太陽光発電施設	Q	我孫子市は太陽光発電の設置がなぜ遅れたのか。
	A	今後も、設置を進めていく。現在、安全対策が施されていない不適切な地域への設置が全国的に散見されるので、そういう点は注意していきたい。
水道事業	Q	年間総給水量の減少の主な要因は、節水器具の普及と考える。当初の見込みと実績で格差があるのはなぜか。
	A	市民への内容開示も含めて、正しい数値の抽出に向けて努力していく。
有事法制	Q	有事法制に基づいて国民保護法が制定され、国民を保護するための指針案が出ている。国民を保護することについて、議会としてどう考えているのか。
	A	行政としても様々な関係機関と連携を深めていく方向性なので、議会も後押しをしていきたい。
議会報告会	Q	前回同様、報告会に若い人が参加していない。前回の報告会で「若い人に関心を持ってもらうようにPR方法を検討していきたい」と回答していたが今回も変わっていない。議員自身の意識がないのでは。たくさんの議員が議会に参加して、議論できるような仕組みづくりを検討してほしい。
	A	—
	Q	回答は必要ないが、今後は議会報告会にもっと若者が来るようにしてほしい。
議会報告会資料	A	—
	Q	予算の資料で、10パーセント以上増減した区分については、「どういう事業が増えたから今後こうしていく」などの記載があると分かり易いと感じた。
議会報告会資料	A	資料の作り方のご意見として承る。
	Q	会議録の市のホームページへの公開に時間がかかっている。1週間以内に公開できる仕組みを作してほしい。
会議録	A	—
	Q	定例会の会議録の公開を繰り上げてほしい。柏市は1ヶ月半で暫定版を公開している。
	A	充分検討する。なお、会議録は作製を委託しており、速記者が原稿を作成し、それを事務局が音声を確認して原稿をチェックする。チェックした原稿を委託会社に送付し、再度送られてきたものをチェック後、印刷会社に渡している。議会の会議録は永年保存の公的資料のため、しっかりしたものを作るためにある程度の時間は必要となる。暫定版をつくる技術的な検討を行う。

# 議会報告会 質疑概要

質問箇所	Q:質問 A:答弁	
議員の資質向上	Q	昨年10月の議会報告会で「議員の資質向上はとても大切で、向上できるように努力したい」と話していたが、この7カ月でどのような向上策をとったのか。
	A	特別これと言って何かをしているわけではない。東葛地区の議員研修会は毎年1回行っている。
その他	Q	今後増えてくる孤独死について、議会で議論をしたことがあるのか。ぜひ議会で取り上げていただき、防止策について考えていただきたい。
	A	—
	Q	携帯電話が普及し公衆電話がなくなっている。公衆電話は災害の時には役立つのに、なぜなくなってしまったのか。設置について、今後議会で取り上げてもらいたい。
	A	ご意見として承る。
	Q	議員と直接話を聞きたいとき、人と成りを知りたいときに、どういう手続をとればよいのか。
	A	ホームページに顔写真と住所と電話番号が記載されている。連絡をして、目的や時間等を言って調整してもらえれば議員には会えると思う。
	Q	かなり勉強不足のため、議員の方が何をやっているかわかっていなかったが、資料を見て少しわかった。他に何を見れば理解が深まるか。
	A	議会の活動で言えば、インターネット中継ですぐに活動内容がわかる。個々の議員の活動については駅頭やホームページ等でご理解してもらえればと思う。
Q	子育て中のお母さんが保健センターに行くのが大変である。場所が問題。子育てしやすいまちとして、若い人の意見も聞いてほしい。また、現在市民活動に参加している世代がいなくなったらどうなるのが不安である。介護も教育も公費でやってもらうように今後検討してほしい。ボランティアはプラスアルファであり、ボランティアなしではやっていけなくなるようでは良くない。	
A	—	